

(別記様式)

会 議 の 概 要

会議の名称	令和5年度第2回木津川市環境審議会	
開催日時	令和6年1月15日(月) 14時00分～15時40分	
開催場所	木津川市役所5階 全員協議会室	
出席者 出席：■ 欠席：□	委員 (名簿順)	■橋本委員(会長) ■北委員(副会長) ■大西委員 □木原委員 □立花委員 □渡部委員 ■藤本委員 ■谷川委員 ■中野委員
	オブザーバー	■大村オブザーバー ■田中オブザーバー
	事務局	市民部：前川部長 まち美化推進課：中谷課長・新田係長・根来主任・徳田主任・西澤会計年度任用職員
議題	(1) 第2次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)について (2) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について (3) 第2次環境基本計画の一部改訂について (4) その他について	
公開・非公開の別	公開	非公開の理由：-
傍聴人の数	なし	
会議資料	委員名簿 座席表 資料1-1 第2次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)概要版 資料1-2 第2次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)中間案 資料1-3 事務事業編・素案からの主な修正事項等 資料2-1 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)概要版 資料2-2 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)中間案 資料2-3 区域施策編・素案からの主な修正事項等 資料2-4 気候変動適応計画について 資料2-5 地球温暖化対策実行計画の策定スケジュール 資料2補足 温室効果ガス排出量の推計方法・削減目標の算定イメージ 資料3-1 第2次環境基本計画の一部改訂について 資料3-2 環境基本計画に係る主な改訂事項 資料4 「2050カーボンニュートラル」研修開催報告	

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

1. 開 会

2. 議 事

◎橋本会長から、名簿順により会議記録署名委員として藤本委員が指名された。

(1) 第2次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について

◎事務局から第2次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の中間案について説明を受け、審議を行った。

資料1-1 第2次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）概要版

資料1-2 第2次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）中間案

資料1-3 事務事業編・素案からの主な修正事項等

○（資料1-2）P8のグラフについて、タイトル「発生源別温室効果ガス排出量の推移」の「発生源」は不要ではないか。

⇒ご指摘のとおり、修正いたします。

○（資料1-2）P10の「発生源別温室効果ガス排出量の推移及び割合」の表において、2020年度の第一学校給食センターの稼働に伴いLPガスから都市ガスへ切り替えたことで、都市ガス使用量が大幅に増加したとのことであるが、LPガス使用量の推移をみると、2020年度・2021年度に減少したあと、2022年度にも大きく減少している。これは数年度に渡って切り替えが行われたということか。

⇒2021年度まで一部の施設のLPガス使用量報告が誤っており、遡及しての修正は困難であったため、直近の2022年度分についてのみ修正を行ったものです。

○（資料1-2）この事務事業編では「環境の森センター・きづがわ」でのごみ処分に伴う温室効果ガス排出量についての記述はないのか。

⇒同施設は一部事務組合の施設のため、制度上、木津川市の事務事業には含まれません。

(2) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

◎事務局から地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の中間案について説明を受け、審議を行った。

資料2-1 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版

資料2-2 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間案

資料2-3 区域施策編・素案からの主な修正事項等

審議経過

◎：議事・進行

○：質問・意見

⇒：説明・回答

資料2-4 気候変動適応計画について

資料2-5 地球温暖化対策実行計画の策定スケジュール

資料2補足 温室効果ガス排出量の推計方法・削減目標の算定イメージ

○（資料2-2）P81の指標項目「出前講座・出前授業の回数」において、現況値（2022年度）56回に対し、目標値（2030年度）が18回と減っているのはいかなものか。

⇒こちらは第2次環境基本計画における管理指標をそのまま記載しておりましたが、目標値の記載について検討いたします。

○（資料2-2）最近、学校給食で肉を出さない日を設ける自治体が増えつつある。その目的も様々と思われるが、肉食を減らすことで温室効果ガスを大幅に削減できるという研究報告もある。特に肉牛の飼育には他の肉と比較して多くのCO₂・CH₄発生が伴うことから、給食など、環境面以外も含めた食育の観点から市の施策として行うことはできないか。給食の記載が難しければ地産地消の取り組みのところや、多様な主体との連携のところに記載するのはどうか。

⇒給食に関しては教育委員会との協議が必要なため、すぐに本計画に記載できるかは分かりませんが、検討いたします。可能であれば、パブリックコメントではご指摘を反映したいと思います。

○市域におけるCO₂排出量を把握することが難しい状況の中、進捗管理を行うのもなかなか困難ではあるが、取り組みの効果等が見えるようをお願いしたい。

（3）第2次環境基本計画の一部改訂について

◎事務局から第2次環境基本計画の一部改訂について説明を受け、審議を行った。

資料3-1 第2次環境基本計画の一部改訂について

資料3-2 環境基本計画に係る主な改訂事項

○（資料3-2）管理指標「市民からの公害・野焼き等の相談・苦情件数」の2022年度実績において、内訳の中に野焼きの記載がなかったが、該当なしということか。

⇒野焼きは大気汚染の件数に含まれており、2022年度の大気汚染1件は野焼きによるものとなっております。

審議経過

- ◎：議事・進行
- ：質問・意見
- ⇒：説明・回答

○（資料3-2）不法投棄のごみ量の把握方法を検討するということがあるが、把握できるようになれば、また管理指標に計上するのか。
⇒業務効率化の観点から、不法投棄パトロールを道路管理部局と合同で行っており、不法投棄ごみと道路上の倒木等を一体で処理することとなり、不法投棄分のみの数量把握が難しくなりました。不法投棄発見箇所数だけでも把握したいと考えており、取扱いについては今後検討いたします。

○（資料3-1）今回の計画の修正は、どのような整理となるか。管理指標の見直しもあるため、改訂にあたりと考えるのか。
⇒前回、誤字脱字などの軽微な修正を行ったときは、訂正としました。今回の取扱いについては庁内で検討したいと思います。
なお、年平均気温に関する記述は本計画において大変重要であり、現状の「約50年前と比較すると、約2℃上昇している」の記載のままだと、市民の皆さんに今後気温が多少上がっても大丈夫だろうとの誤解を与えることになりかねないため、直近年度が計画の他の部分と異なることとなりますが、今回の地球温暖化対策実行計画の策定に合わせて、修正したいと考えております。

（4）その他について

◎事務局から「2050カーボンニュートラル」研修の開催報告について説明を受け、審議を行った。

資料4 「2050カーボンニュートラル」研修開催報告

○本研修の成果は。
⇒市が政策決定を行う上で、幹部職員の認識の共有が大変重要となりますので、市長以下部長級を主な対象とする研修を行いました。長時間の研修でしたが、参加者から「受講して良かった」という言葉もあり、今後の具体的な取り組みに先立ち、本研修を開催することができて良かったと感じております。

3. 閉 会

◎（事務局より）今回ご審議いただきました区域施策編についてはパブリックコメントにより市民の皆様のご意見を広く募集した上で、事務事業編とともに年度内策定に向けて進めてまいります。
また、これに併せて第2次環境基本計画についても、改訂という形で行うのか整理を行った上で、修正したいと考えております。

そ の 他	特になし。